



「エコシティたかつ」推進フォーラム ～みんなで作ろう「エコシティの輪」！～

● 学校ピオトープ交流会

区内の小学校児童に、ピオトープを活用した学習の成果を発表していただきました。

発表校：梶ヶ谷小学校、下作延小学校



● 講演 ゲリラ豪雨から身を守る流域思考

地球温暖化に伴い、ゲリラ豪雨が増える中、平成27年9月に発生した台風18号による鬼怒川の堤防決壊を例に、水害や土砂災害の発生メカニズムや対応方法について、岸由二慶應義塾大学名誉教授（「エコシティたかつ」推進会議委員長）にご講演いただきました。



橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進

- ファーマーズマーケット（高津さんの市）の開催・定着化
- 農業体験の実施
- 農産物、特産品の紹介販売を実施
- 地域交流拠点との連携
- 区役所レストランで橘地区で取れた野菜を使ったメニューを提供



みんなで進めよう！「エコシティたかつ」

「エコシティたかつ」は、高津区で生活し、学び、働き、活動する私たちが、それぞれの立場でできることを行い、相互に響き、支えあうことで、大きな推進力が得られます。

「エコシティたかつ」の各プロジェクトでは、支援ボランティア、参加者、協力者の募集を随時おこなっています。メールアドレスをご登録いただいた方には、イベント情報やボランティア情報などをお知らせします。

一緒に「エコシティたかつ」の活動を進めませんか。詳しくは右記の連絡先にお問い合わせください。



連絡先：
川崎市高津区役所
企画課／地域振興課

電話：044-861-3131 / FAX：044-861-3103
メールアドレス：67kikaku@city.kawasaki.jp
67tisin@city.kawasaki.jp



エコシティたかつ

クリック!



「エコシティたかつ」協賛・協力企業

NECプラットフォームズ株式会社、株式会社川崎フロンターレ、株式会社富士通ゼネラル、株式会社ホテルKSP、株式会社丸井（敬称略、50音順）

「エコシティたかつ」推進事業 2015年度 報告書概要版
発行日：平成28（2016）年 3月
発行者：川崎市／「エコシティたかつ」推進会議
事務局：川崎市高津区役所
デザイン：有限会社 tt-unit

…わたしと地球をつなぐ街…

エコシティたかつ

推進事業 2015年度

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、
自然の賑わいとともにある
持続可能な循環型都市構造の再生と創造
100年後のたかつのまちのために

「エコシティたかつ」の基本目標

緩和策
低炭素・省資源社会の実現

私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、
地域／地球の二酸化炭素の削減につなげ、資源を
有効に活用します

適応策
地域に即した防災まちづくりの推進

深刻化する局地的な豪雨や洪水、渇水に対し、
流域の水循環に即した“水災害適応型都市”づくり
を推進します

自然の賑わい・生物多様性
自然共生型都市再生の推進

丘陵などランドスケープを重視した、
生命（いのち）の賑わい豊かな自然共生型の
都市再生を地域から推進します

“流域”とは、
降った雨が集まる、
大地の範囲・領域
のことです。



自然の賑わい・生物多様性とは

池や湿地、森など
多様な生態系に、
たくさんの生きものが
相互に関連しながら
生息している状態のことです。



2015年度の プロジェクト報告

学校流域プロジェクト

学校にビオトープ(池や草原、林など)や雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクトです。

● 環境学習支援

これまでにビオトープを整備した、区内小学校13校と中央支援学校に対し、ビオトープを活用した環境学習支援を実施するとともに、子母口小学校にビオトープを新たに整備しました。

また、学校の理科や総合学習でのビオトープの活用を図るため、区内小学校教職員を対象とした「環境学習研修会」を実施しました。

● 雨水利用の促進

学校における更なる雨水の活用を図るため、東高津小学校に雨水タンクを新設しました。

これで
高津区内の全小学校に
ビオトープが整備
されたよ!!



区役所の緑化等、環境技術導入によるエコシティホール化の推進

区役所庁舎では、屋上太陽光発電システム、コケによる屋上緑化や職員手づくりのビオトープ、ペットボトルキャップから作られたベンチ、光触媒看板など、環境に関するさまざまな取組を、例として展示しています。

● 緑のカーテン事業の展開

区役所や橋出張所、道路公園センターで育てたゴーヤーを区役所食堂で提供しました。

● エコシティホールツアーの開催

川崎市地球温暖化防止活動推進センターと連携し、区役所庁舎エコシティホールツアー&自然エネルギー体験工作教室を開催するなど、希望者に対してエコシティホールツアーを実施しました。見学は随時受け入れています。ご希望の方は、ぜひご連絡ください。



「たかつの自然の賑わいづくり」事業

専門家と一緒に、水・緑・生きもの調査(外来の植物や生きもの探しも含む)を行い、さまざまな活動を通して、地球温暖化適応策・生物多様性保全への貢献を市民協働で行うプロジェクトです。



● たかつ水と緑の探検隊

川崎市立緑ヶ丘霊園内の森の一部では、アオキやシラカシといった常緑樹により、林床が暗く下草が少ないため、保水力が低下しています。

霊園内の谷戸の森をモデル地区として、間伐による健全な森の再生や湧水の整備による水辺の創出のための取組を実施しました。

● たかつ生きもの探検隊(小学生向け)

「たかつ生きもの探検隊」は、2015年度から小学生向けに、専門家と一緒に緑ヶ丘霊園内の森を観察し、生きもの探しなどを実施しました。東京都等では絶滅危惧Ⅱ類に指定されているショウリョウバッタモドキを捕まえるなど、楽しみながら自然の生態について学びました。



たかつエコシティツアー MAP

「エコシティたかつ」における「流域」を枠組みとした地球温暖化適応策や生物多様性保全に向けた取組を普及啓発するため、「たかつエコシティツアーMAP」を作成しました。

平成28年度には、市民向けに「たかつエコシティツアー」を実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。

LET'S
GO!

